



第26回通常総会
大分県生活環境部長あいさつ

大分県生活環境部長 柴田 尚子

日時：平成28年6月6日（月）13時30分から

場所：大分県建設会館 5階 大ホール

本日、大分県環境保全協議会の第26回通常総会が盛大に開催されることを心よりお慶び申し上げます。

利光会長をはじめ、役員並びに会員の皆様には、本県の生活環境行政の推進について、日頃から格別の御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本県は、緑豊かな山野、大地を潤す清らかな河川、変化に富んだ海岸、豊富な温泉資源など、全国に誇れる豊かな自然に恵まれております。この恵み豊かな自然を将来の世代へ継承していくとともに、持続可能な循環型社会を実現するため、今年3月に「第3次大分県環境基本計画」を策定しました。

これは、昨年10月に策定した長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」の環境分野の目標を実現するための部門計画であります。

産業廃棄物については、排出量の減量、再生利用率の向上が着実に進んでいるが、不法投棄等の廃棄物の不適正処理は後を絶たないほか、県外産業廃棄物の搬入に係る不安や大規模災害により多量に発生する災害廃棄物の処理など様々な課題もあります。

こうした課題に対応するため、県では、今年3月に、事業場等に対する監視・指導体制の強化や産業廃棄物処理業者の優良認定制度の推進、災害廃棄物処理への対応等を主な取組として盛り込んだ「第4次大分県廃棄物処理計画」を策定しました。

この計画は、「第3次大分県環境基本計画」の実行に際しての個別計画として位置づけられております。

今年度からは、新たな第4次廃棄物処理計画に基づき、施策や取り組みを展開し、さらなる減量化をはじめ、再資源化や適正処理を推進してまいります。

また、平成15年から、美しく快適な大分県づくりを進める県民運動として、3Rの推進やノーマイカーデー、キャンドルナイト等「ごみゼロおおいた作戦」を展開してきましたが、これまでの取り組みの成果を活かし、さらにステップアップさせた地域活性化型の「おおいたうつくし作戦」を今年4月に本格的にスタートさせ、県民の環境意識のさらなる醸成と持続可能な活動基盤づくりに取り組んでまいります。

貴協議会は、平成2年の設立以来、排出事業者の団体として、廃棄物の適正処理をはじめ、地球温暖化防止対策などの環境保全活動に幅広く取り組んでいただいております。

昨年は、事業場相互間における産業廃棄物の有効利用を促進する産業廃棄物広域交換制度の運用のほか、法令遵守や産業廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進を目的とした「産業廃棄物適正処理講習会」や「電子マニフェスト操作セミナー」の開催に協力いただき、排出事業者責任の周知徹底や電子マニフェストの普及の取り組みを推進することができました。

今後も貴協議会と連携を図りながら、安心して暮らせる大分県づくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、一層のご支、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、大分県環境保全協議会のさらなる発展と会員の皆様の今後ますますのご健勝、ご多幸を祈念してあいさついたします。

本日は、誠におめでとうございます。